

2022年度

看護職員の勤務環境に関する調査報告



勤務環境改善推進委員会

2022年12月3日

はじめに

2019年4月 『働き方改革関連法案』 施行

- 年次有給休暇5日間付与が義務化



- 県内各施設の看護管理者の方へ年休取得に関するアンケート調査を開始
- 2020年度から、「年休取得に関するアンケート」「時間外勤務」「夜勤負担」「暴力・ハラスメント対策」についてを加えて調査を実施



報告

目的

- 各施設における2021年度の「年次有給休暇の取得状況」「時間外労働」「夜勤負担」「暴力・ハラスメント」について、取得のための対策や工夫について調査し、結果を今後の参考とする。

【実施方法】

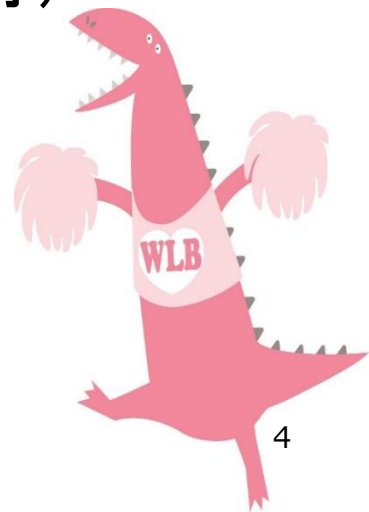
- 調査方法：アンケート調査

山形県看護協会より各施設に調査依頼

テーマ：「2022年度 山形県内病院の看護職員

就業状況及び勤務環境調査」

- 調査期間：2022年6月6日（月）～6月20日（月）
- 調査内容：年休取得状況関連・時間外労働
夜勤負担・暴力・ハラスメント対策など
- 調査対象：県内67施設



結果

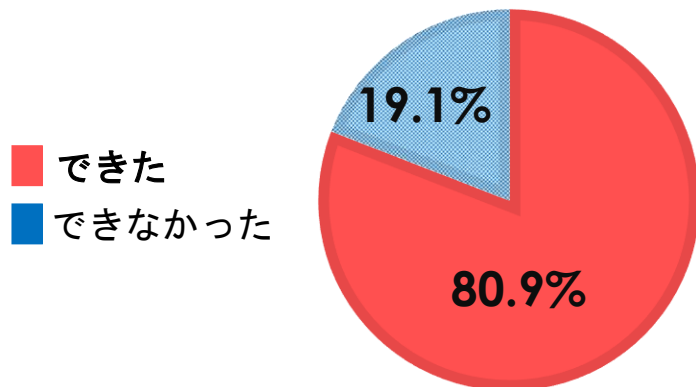
1. 年休取得状況関連

平均年休取得日数

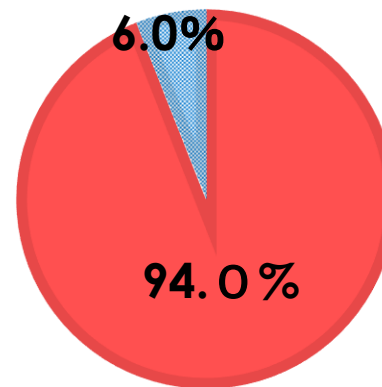
調査年度	2020年	2021年	2022年
回答施設数	68施設	67施設	67施設
平均年休取得数	10.4日 (最小 4日) (最大 21日)	11.2日 (最小 6日) (最大19日)	11.3日 (最小 5日) (最大 19.5日)

全職員の5日以上的年休取得状況

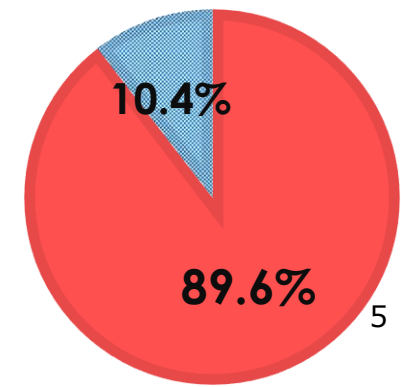
2019年度



2020年度



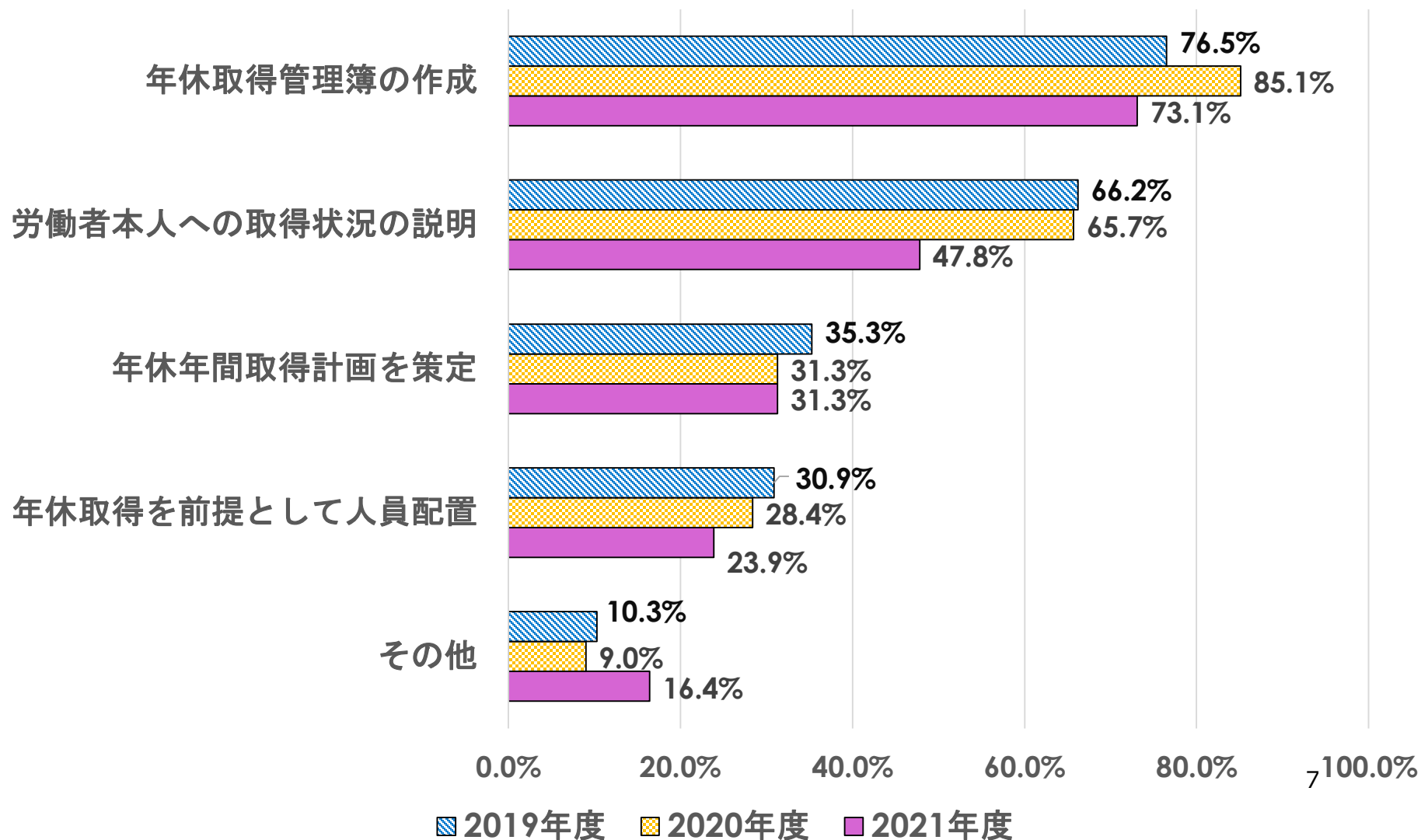
2021年度



《5日以上の子休取得がでしなかつた理由》

- 育休・介護休・病休の職員が4名いる中、分娩件数が増加した
- 管理職等が取得でしなかつた。
- 業務の役割上、休むことがでしなかつた
- 育児休暇から復帰間もない期間で5日間の取得が難しかった(3件)

年休取得のための組織の取り組み (複数回答)

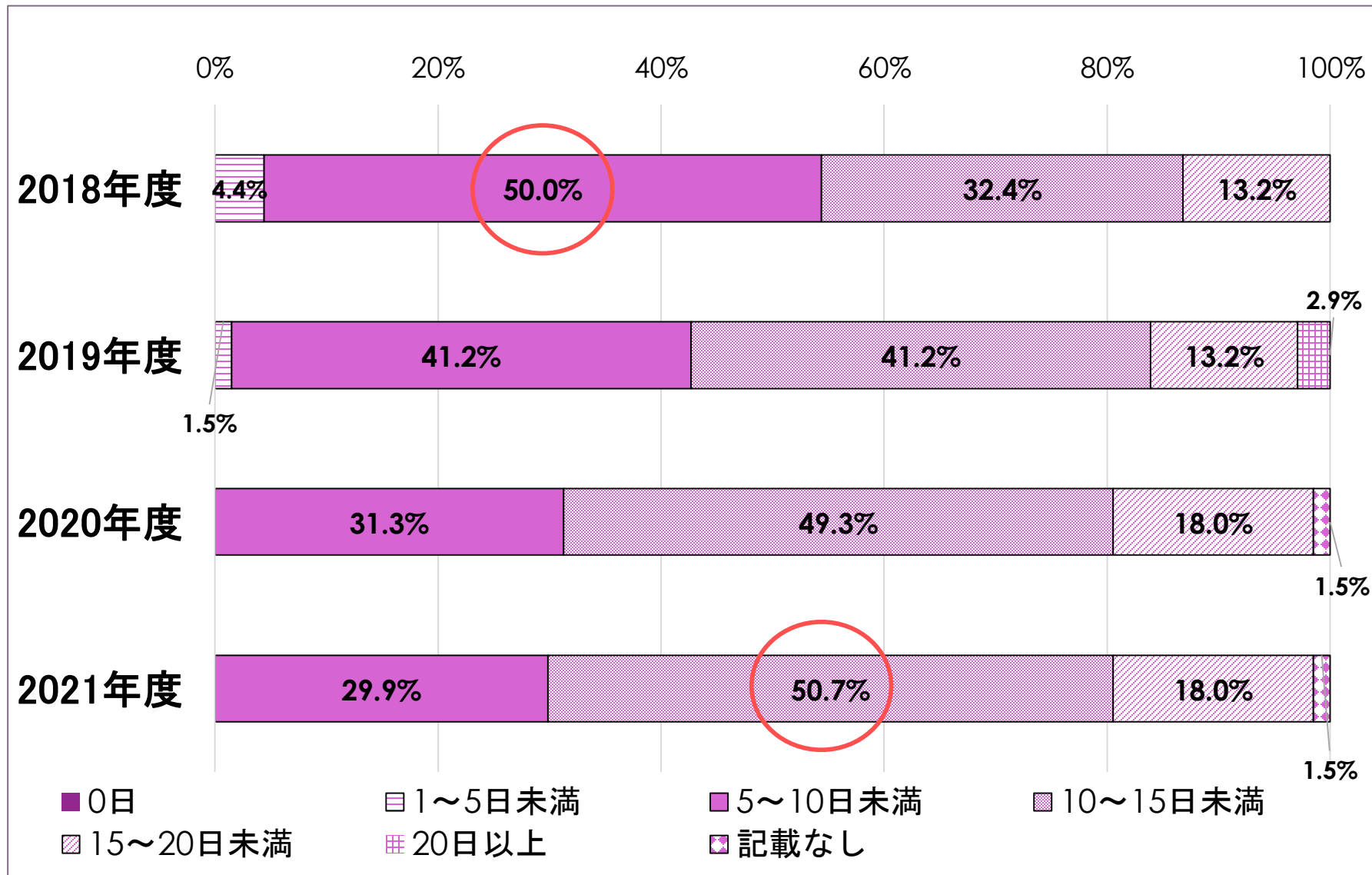


《年休取得に向けた取り組みの具体的内容》

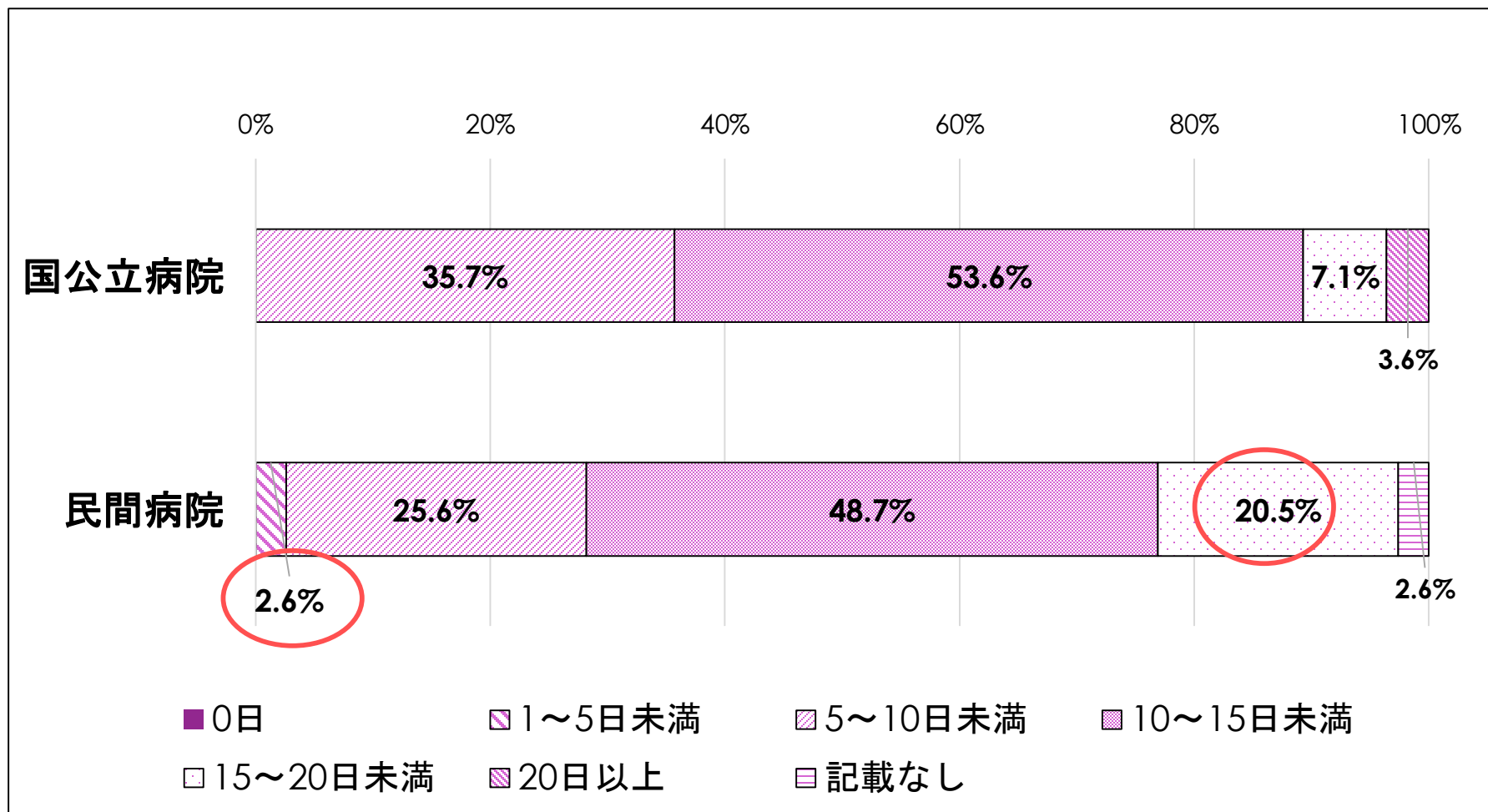
- 師長会で年休取得状況を部署ごとに開示している
- 各職場へ5日以上取得できるように周知。各職場で年間取得計画を策定
- ワークライフバランス委員会からの働きかけ、リフレッシュ休暇、アニバーサリー休暇を設けて推進する
- 毎月安全衛生管理委員会が各部署の有給休暇取得状況の報告
- 各月取得状況を理事会で報告
- 積極的な取得の広報
- 年休取得に向けた啓蒙
- 年休取得管理を師長に指導



平均年休取得日数の施設割合の推移 (平成30年度～令和3年度)

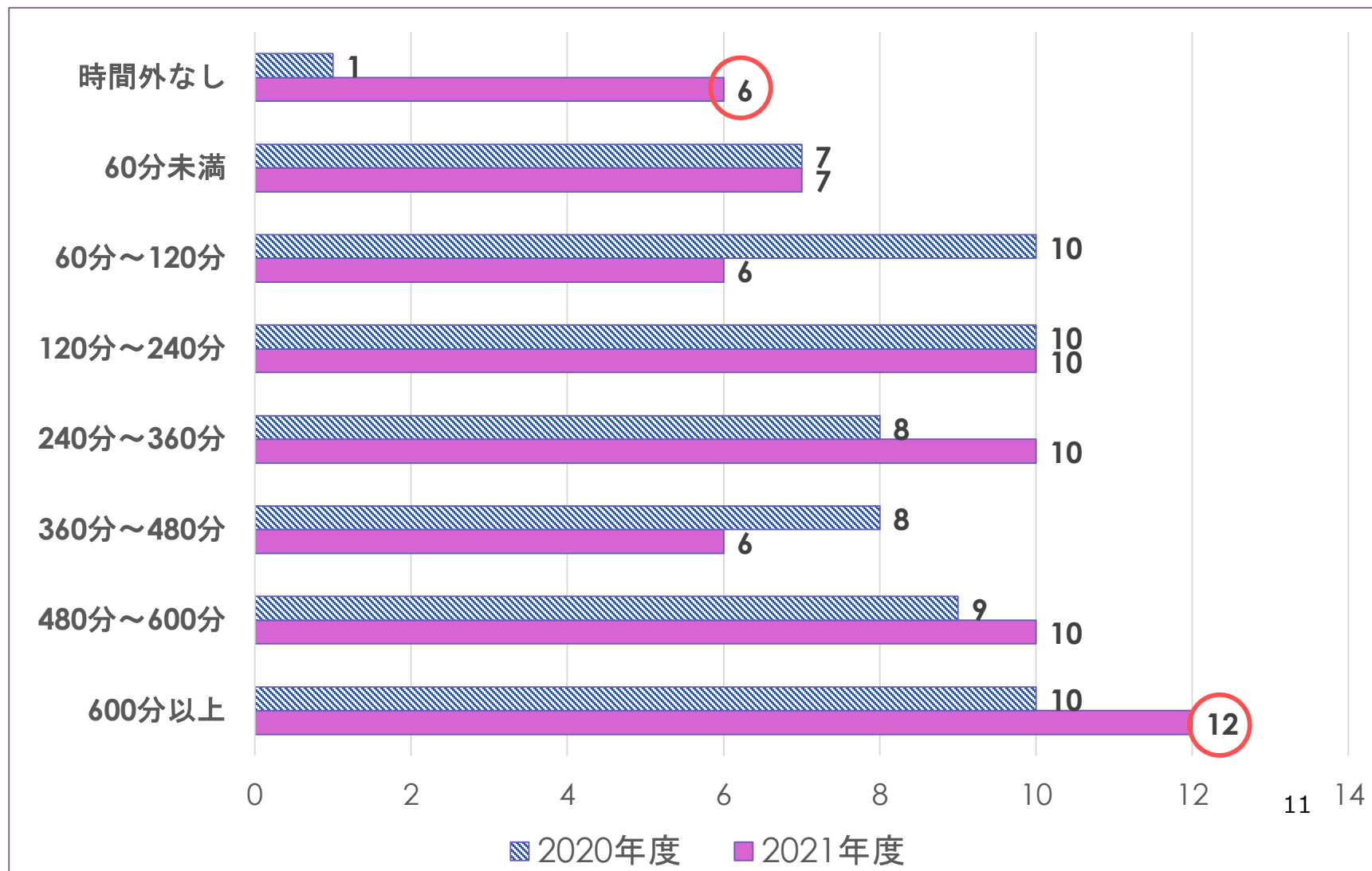


設置主体別の平均年休取得日数の割合

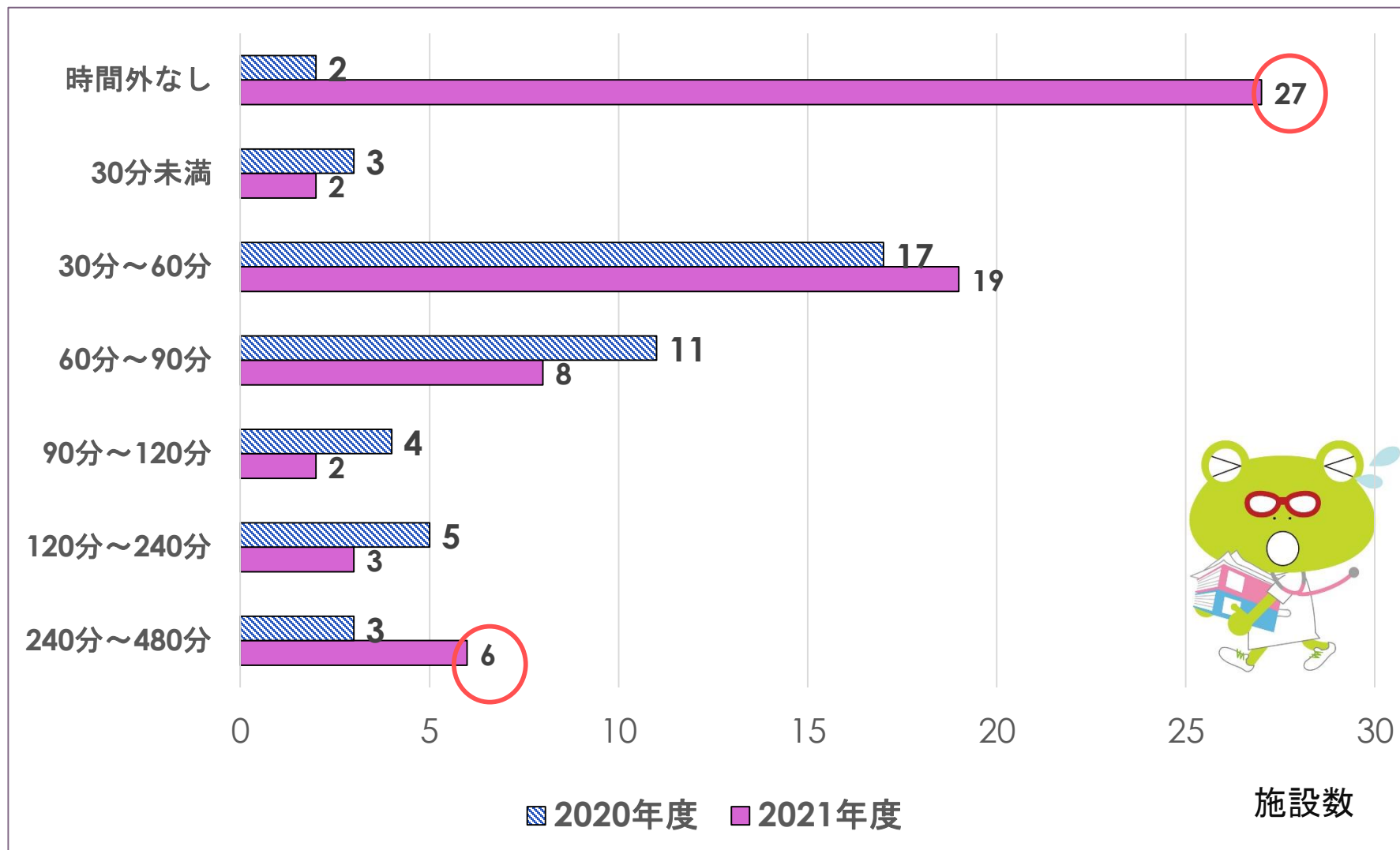


2.時間外労働

2022年3月の1か月の平均時間外勤務時間数

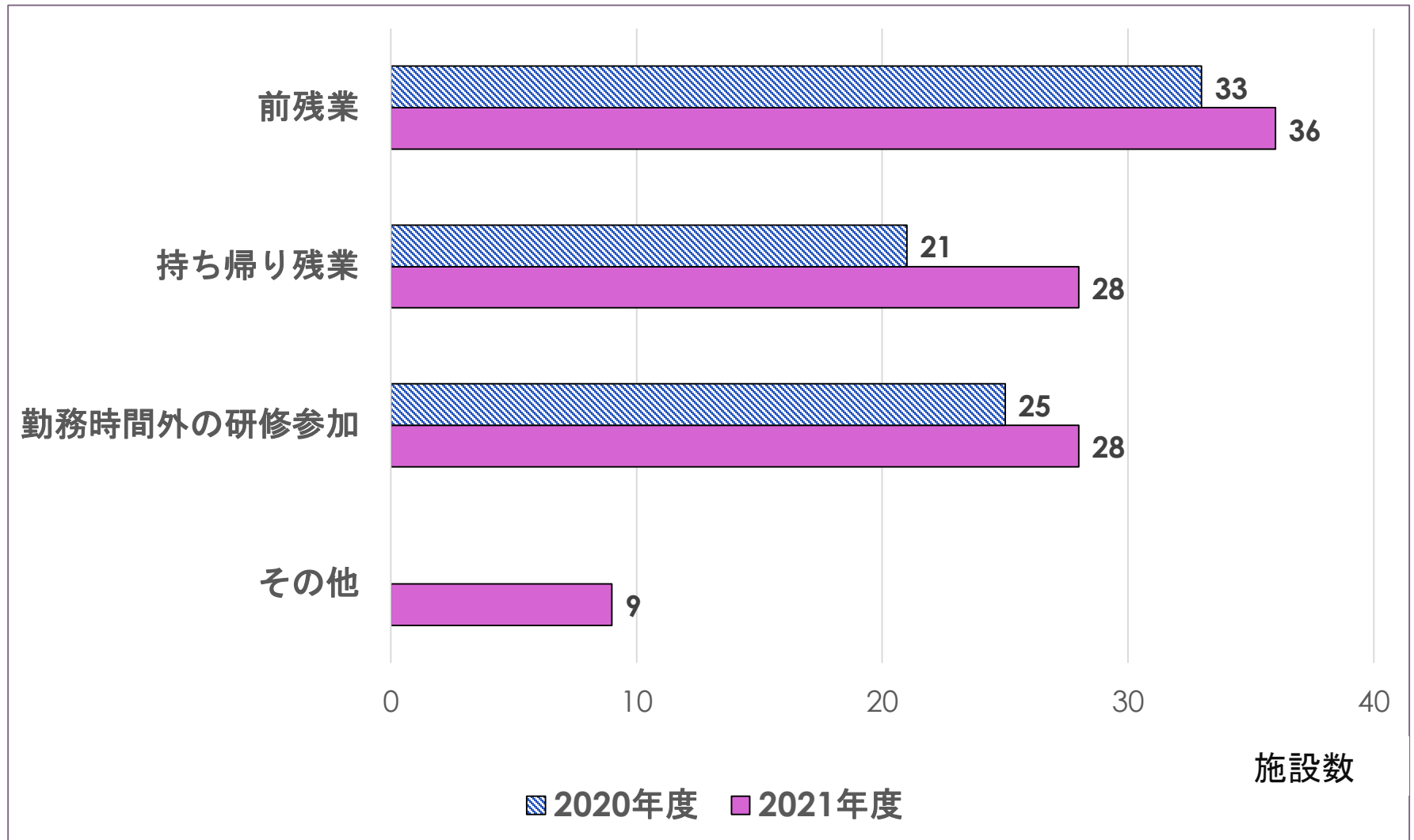


2022年3月の夜勤における1か月の平均時間外勤務時間数



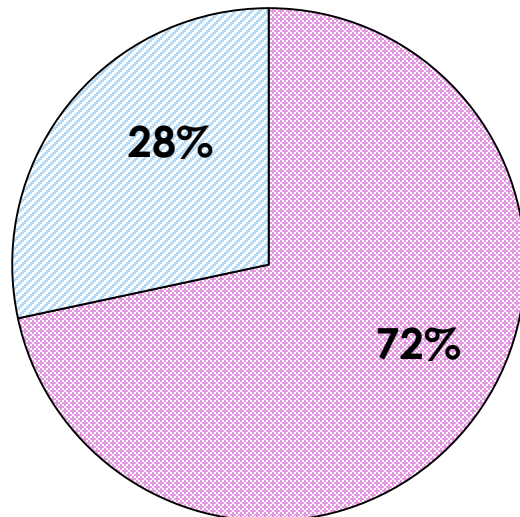
可視化されていない時間外労働の内容

(複数回答)



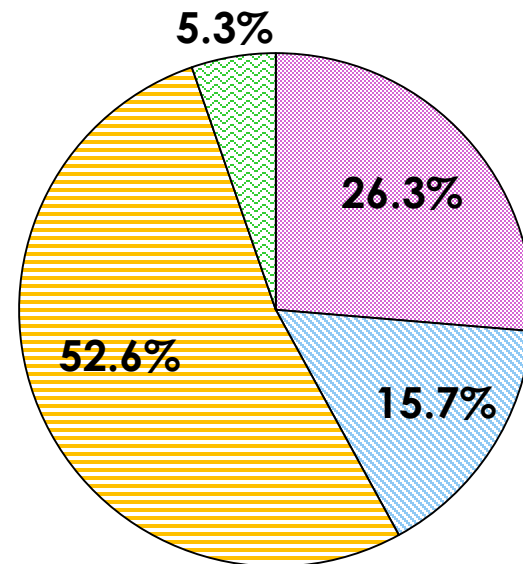
3.夜勤負担

11時間以上の十分なインターバル
確保ができているか



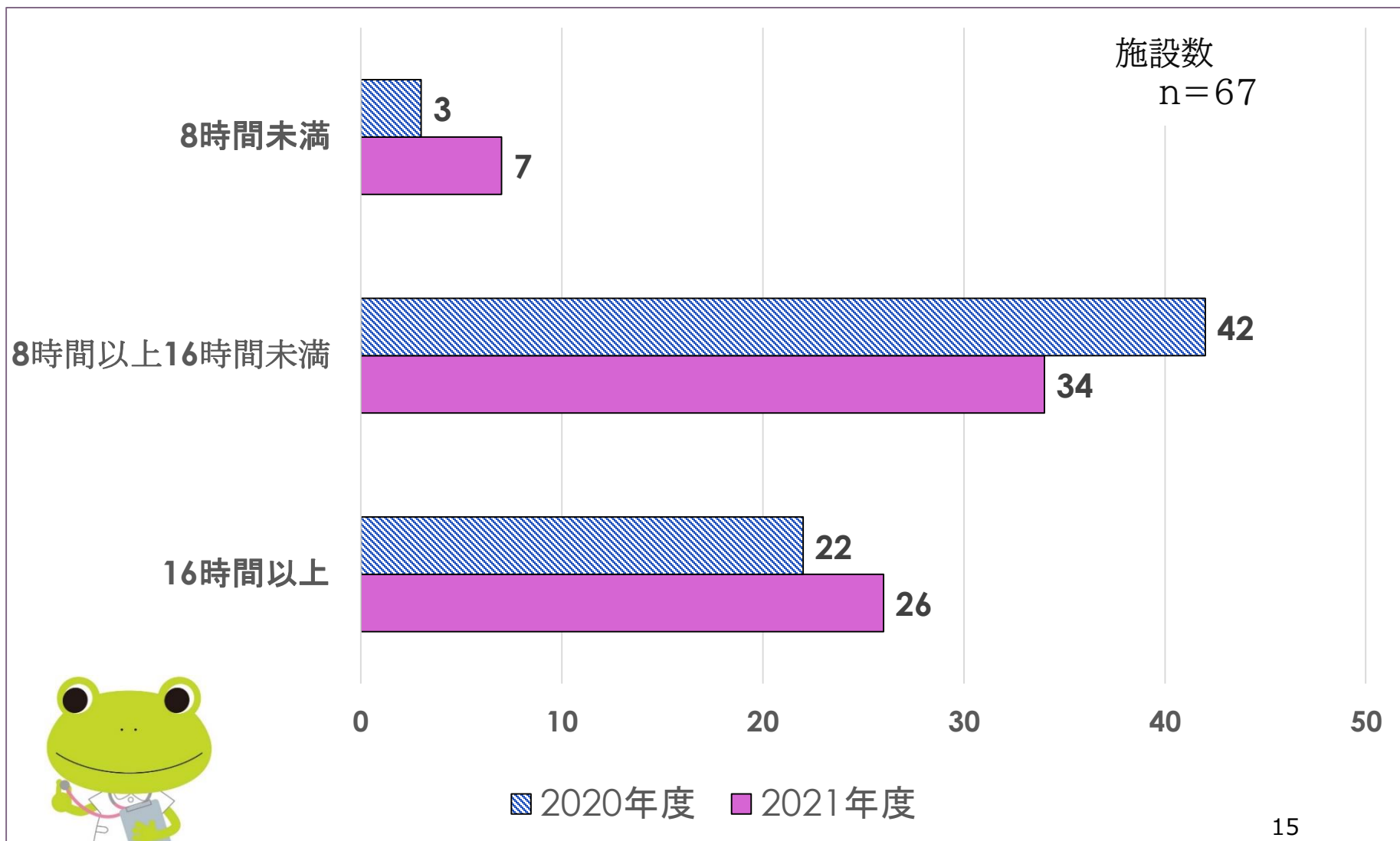
■ できている ■ できていない

十分なインターバル確保のための
取り組み



■ 行っている ■ 行っていない
■ 今後対策を講じる予定 ■ 無回答

各病院における最大勤務拘束時間

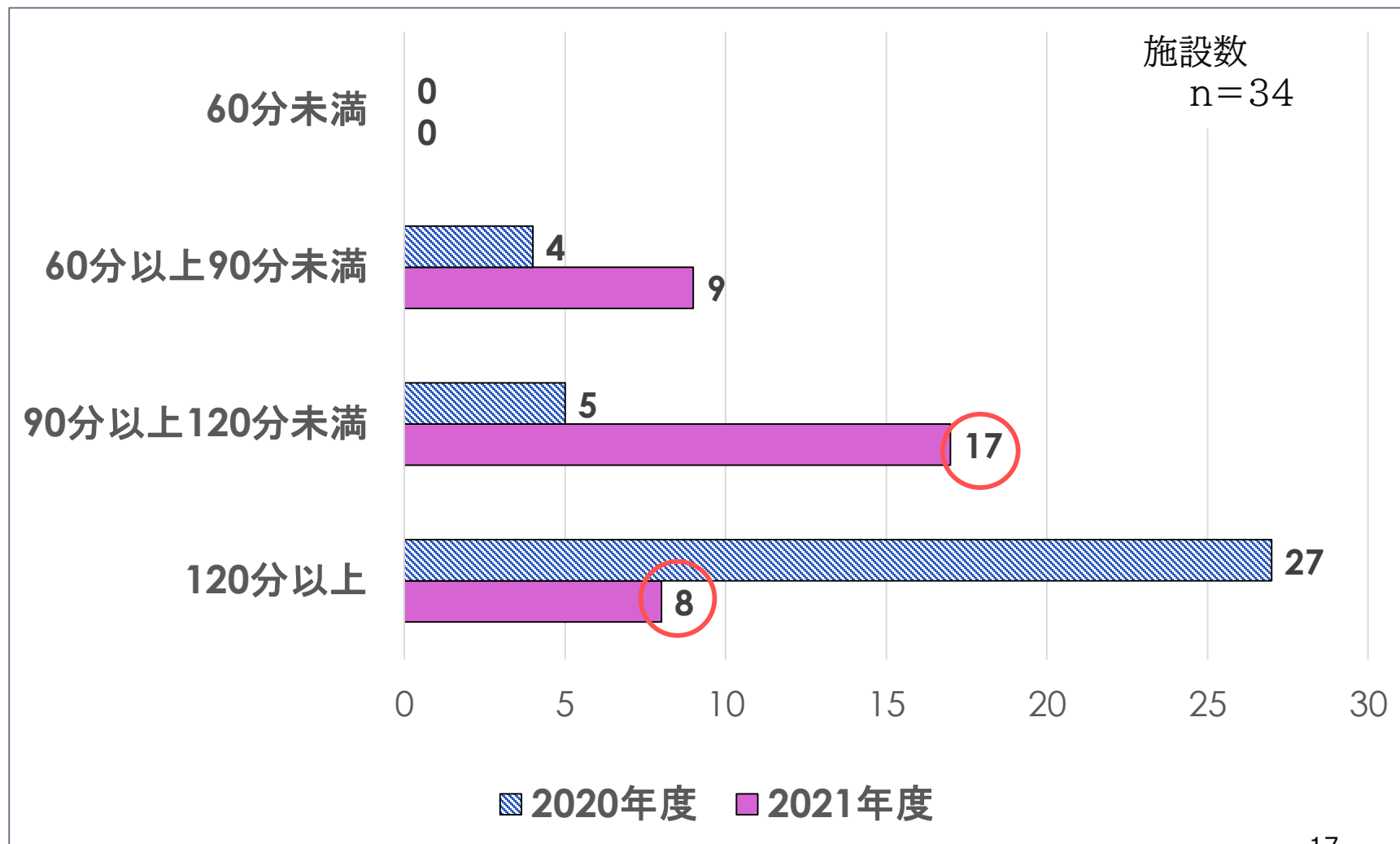


夜勤交代制勤務の推移 (複数回答)

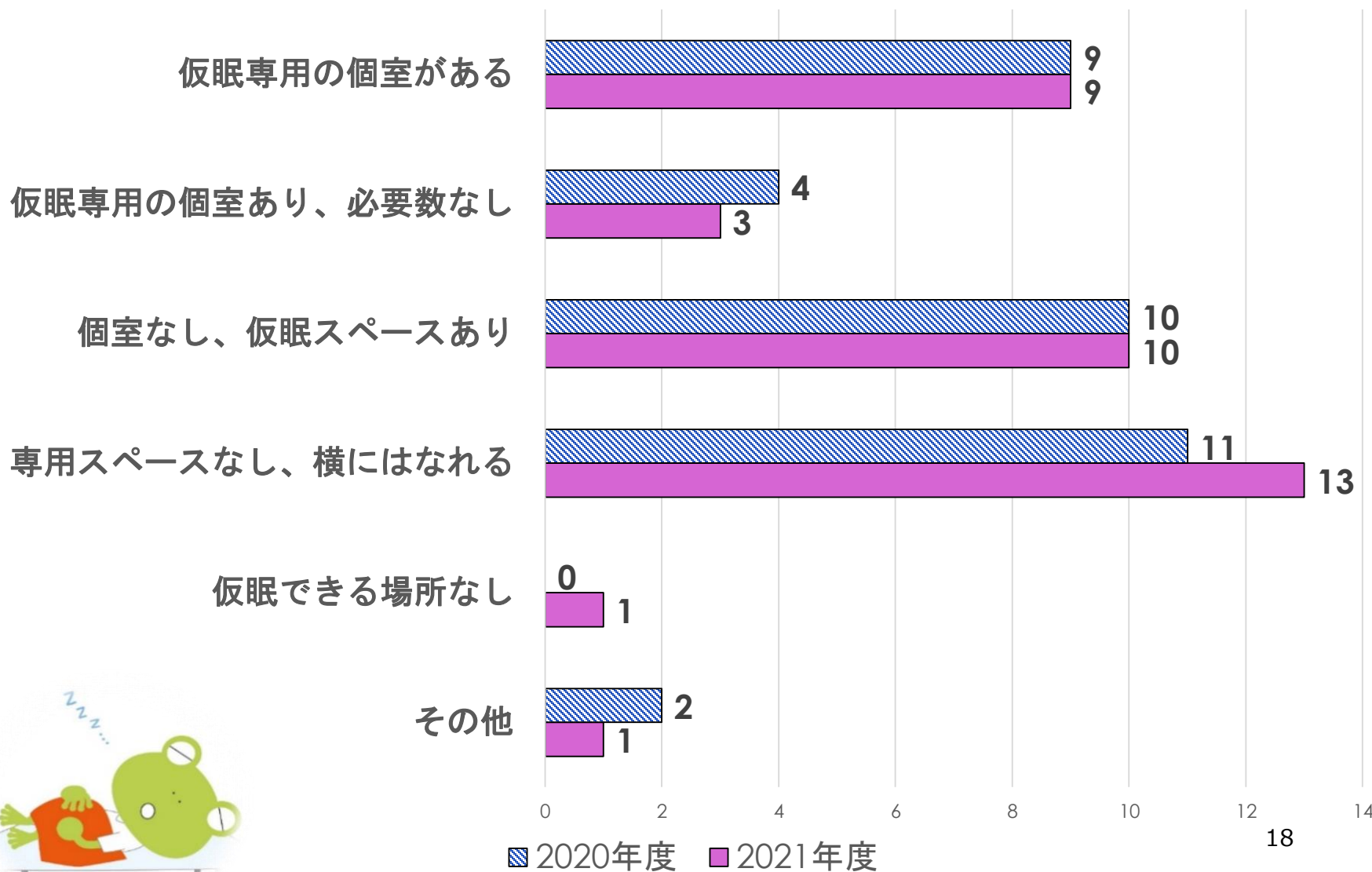
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
三交代制	49	48	46
二交代制 (16時間以上)	20	23	16
二交代制 (16時間未満)	16	17	22
その他	1	1	1

二交代勤務の
ある施設は
38施設

二交代勤務の仮眠時間

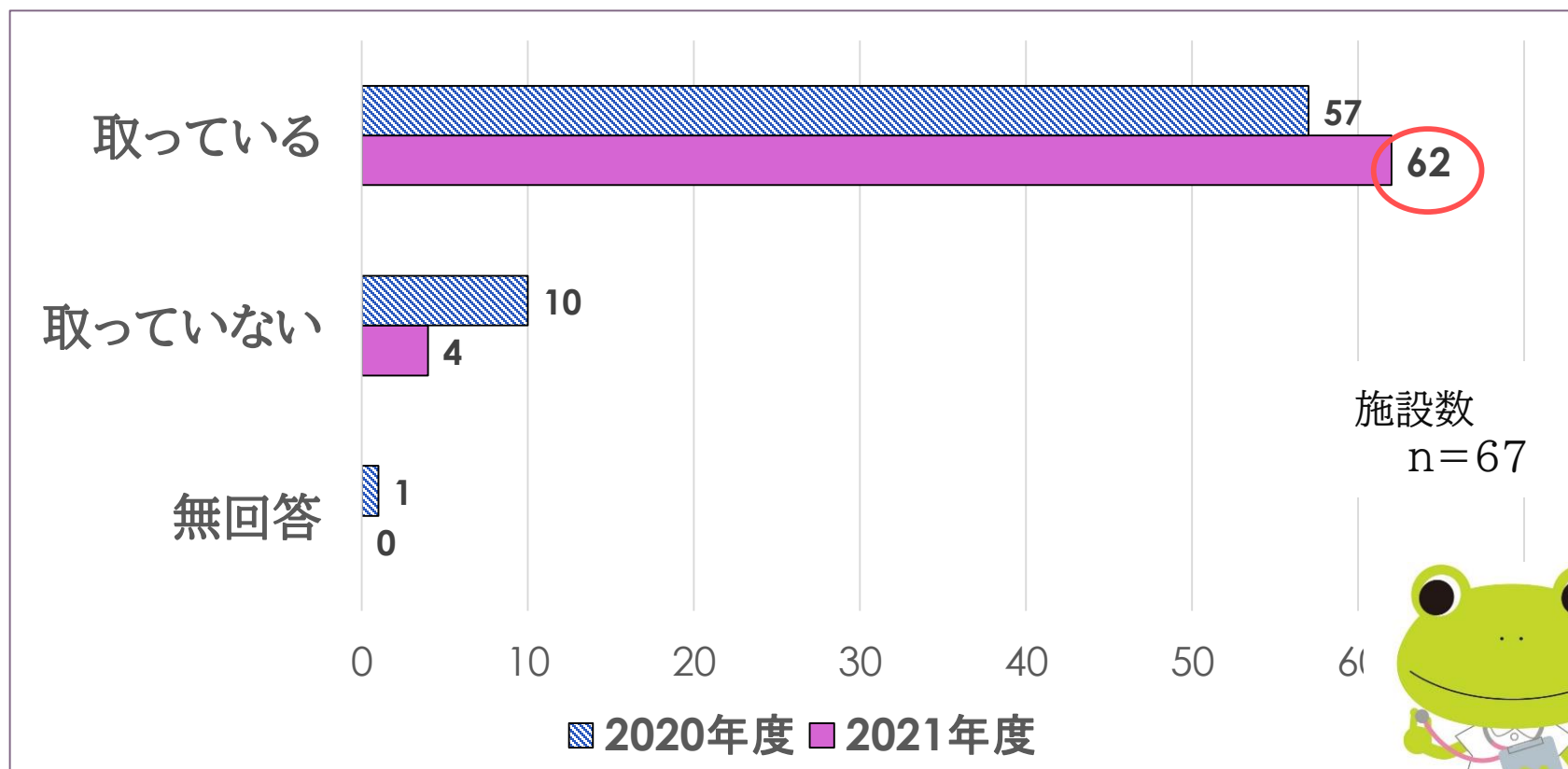


仮眠環境

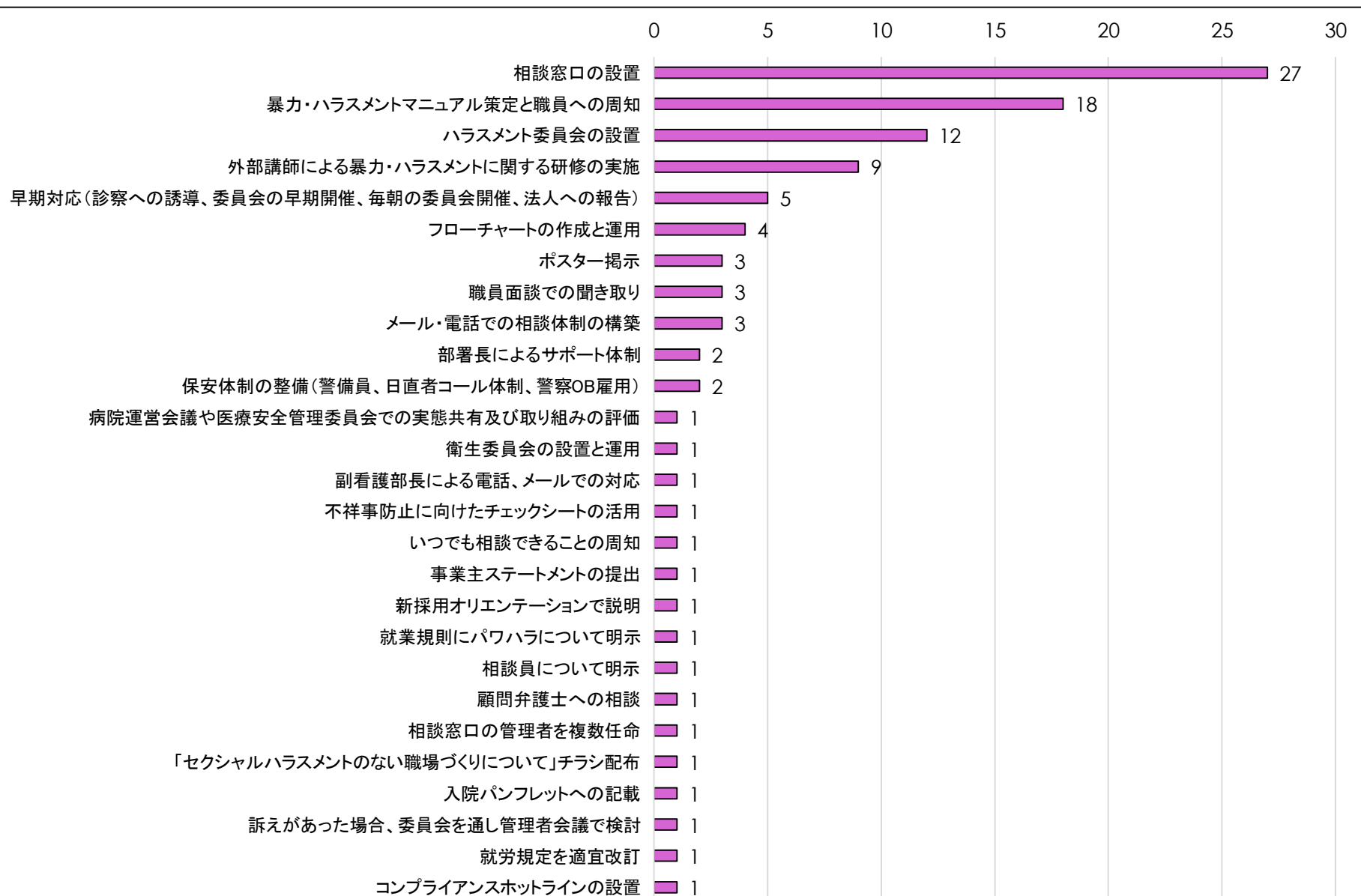


4. 暴力・ハラスメント対策

暴力・ハラスメントについて組織として対策を取っているか



対策や工夫の具体的内容（自由記載・複数回答）



各施設の様々な取り組みを参考にして
いただけると幸いです
ご協力いただきました各施設の皆様
ありがとうございました
ご清聴ありがとうございました

